

# 近代日本経済の父 渋沢栄一



近代日本経済の父渋沢栄一は、天保11年(1840)武蔵国榛沢郡血洗島(現在の深谷市血洗島)の農家に生まれました。幼い頃から家業の藍玉の製造・販売や養蚕を手伝い、7歳になるといこの尾高惇忠のもとへ論語をはじめとする学問を習いに通いました。

20代で倒幕思想を抱き、惇忠や惇忠の弟長七郎、いとこの渋沢喜作らとともに、高崎城乗っ取りなどを計画しましたが、時の情勢に詳しい長七郎の説得により中止、その後、喜作とともに京都へ向かい、一橋(徳川)慶喜に仕えることになりました。27歳の時、慶喜の弟徳川昭武の随行でパリ万国博覧会などを視察し、欧州諸国の実情に触れることができました。大政奉還により帰国後、明治政府の大蔵省に仕官。明治6年(1873)に大蔵省を辞めた後、実業界で企業の創設・育成に注力、「道徳経済合一説」を唱え、第一国立銀行をはじめとする500あまりの企業の設立に関わり、また約600の教育・社会福祉事業の支援と民間外交にも熱心に取り組み、数々の功績を残しました。

# 盲目の国学者 塙保己一



塙保己一は、江戸時代中頃の延享3年(1746)に武蔵国児玉郡保木野村(現在の本市市児玉町保木野)に生まれました。7歳の時に病気のため失明し、12歳の時には心の支えであった母を亡くしました。15歳の時に江戸に出て、目の不自由な人々の組織である当道座に入り、検校雨富賀賀一の弟子となりました。その後学問の道に進み、萩原宗固や加茂真淵などから国学や和歌を学びました。安永8年(1779)、34歳の時には世のため後のためになることをしたいという思いから『群書類従』の編纂を始めました。これは各地に散らばる古代から江戸時代までの貴重な書物を集め、版木を起こして印刷するもので、完成までに40年の歳月をかけた一大事業となりました。特に失われやすい貴重なものを中心に収録されており、現在では『群書類従』でしか読むことのできない書物もあることから、日本の文学・歴史等を研究するうえで欠くことのできない重要な資料となっています。寛政5年(1793)には国史や律令の講習及び史料の編纂を行う和学講談所を設立しました。文政4年(1821)、当道座の最高位である総検校となりましたが、同年、病気のため76歳で亡くなりました。

# 日本公許登録女性医師第1号 荻野吟子



荻野吟子は、江戸時代末期の嘉永4年(1851)に武蔵国幡羅郡依瀬村(現在の熊谷市依瀬)に生まれました。

18歳のとき近郷の大地主と結婚しますが、不慮の病気を理由に離婚、東京の病院に入院し、婦人科の治療を受けた体験から女性医師の必要性を痛感し、自ら医師になることを決意します。

当時、女性に医療開業試験の受験は認められず、女性が医師になる道は閉ざされていましたが、持ち前の根性で制度改正に奔走し、多くの師友の協力により、ようやく受験の運びとなります。

明治18年(1885)医師開業試験に女性として初めて合格し、日本公許登録女性医師第1号の偉業を見事達成し、本郷区湯島三組町に荻野医院を開業し、医療に力を尽くします。

医師としての一方、医療・婦人解放運動の先駆者として活躍し、女性の地位向上や衛生知識の普及にも大きな貢献をしました。

# 埼玉ゆかりの3偉人

渋沢栄一 塙保己一 荻野吟子

をつなぐ

# MAP&情報



◀ 渋沢栄一記念館



◀ 塙保己一記念館



◀ 荻野吟子記念館

## 実は埼玉ゆかりの3偉人には つながりがあるんです

★群書類従がつなぐ埼玉ゆかりの3偉人★

令義解が叶えた  
女性医師1号  
保己一と荻野吟子

『令義解』とは古代に作られた律令(法律)の解説書で、江戸時代には一部が散逸して完全な形には揃わない状態でした。保己一は多くの文献・史料を駆使して『令義解』を復元して刊行しました。この中には『医疾令』という法律が載っており、そこには女性医師の規定が書かれていました。明治時代になって女性医師をめざした荻野吟子にとって、保己一の復元した『令義解』は女性で初めて医師開業試験を受けるための手助けとなったのです。

版木の保存  
に尽力  
保己一と渋沢栄一

『群書類従』の1万7千枚を超える版木は、現在、温故学会(東京都渋谷区)に保管されています。温故学会は、明治42年(1909)に保己一の残した文化遺産を後世に伝えるために設立されましたが、その際に渋沢栄一は賛助会員となっています。さらに、版木を保存するための会館建設時にも協力しており、開館式典では式辞を述べています。渋沢栄一の尽力によって、現在も保己一の残した版木から刷り上げられた本を手にすることができるのです。



発行 埼玉ゆかりの3偉人を活かした3市連携PR会誌  
(深谷市渋沢栄一記念館・本市文化財保護課・熊谷市妻沼中央公民館)

## 深谷の名物

### 野菜

深谷は関東の台所、野菜の産地です。中でも有名なのは何といっても深谷ねぎ。一年中収穫されますが、寒さで甘みが増す冬の時期が一番のおいしさです。そのほか、きゅうり、ほうれん草、ブロッコリー、とうもろこしなど深谷の大地が育んだおいしさをぜひ堪能してください。

### 花

深谷市はユリの切り花生産量が全国1位で、主に『テッポウユリ』と『スカシユリ』の交配種の『LAユリ』が年間を通じて日本中に出荷されています。中輪の花を咲かせる種類が豊かなことが特徴です。また、市の花となっている『チューリップ』も全国2位の生産量を誇っています。

### 煮ぼうとう

煮ぼうとうは、渋沢栄一翁も帰郷した際に好んで食べたといわれる深谷の郷土料理です。特徴は、特産である深谷ねぎや地元で採れた根菜類をたっぷり使い、幅広い麺を生麺の状態から煮込んでいるところです。しょうゆ味で、適度なとろみのついたつゆがおいしさを引き立てます。

### ふっかちゃん

平成22年6月28日に誕生したふっかちゃんは、地元産「深谷ねぎ」のしなやかで豪快な角が特徴です。今や世代や地域を超えて広く愛される深谷市自慢のイメージキャラクターです。道の駅「はなぞの」には、ふっかちゃんと触れ合えるふっかちゃんミュージアムがあります。

### アクアパラダイス・パティオ

北関東最大級の全天候型レジャープールです。深谷市の特産品である花を広くPRすることにより、地域農業の活性化を図るため、深谷グリーンパークと同時に平成8年7月にオープンしました。1年を通じて水遊びが楽しめる地中海をイメージしたパティオへ是非おこしく下さい。

## 本庄の名物

### 採れたて野菜

肥沃な土地を持つ本市では、キュウリやナス、タマネギ、レタスなど、さまざまな農産物が盛んに生産されており、収穫したばかりの新鮮でおいしい野菜を手軽に味わうことができます。



### つみっこ

本市の名物「つみっこ」は、老若男女に親しまれている郷土料理です。養蚕が盛んだった頃から、仕事の合間に食べられていました。小麦粉をつみとる様子を桑の葉を摘み取る様子になぞらえて、「つみっこ」と呼ばれるようになったといわれています。



### はにぼん

本市のマスコット「はにぼん」は小島の前山古墳から出土した全国でも珍しい「笑う盾持人物埴輪」をモデルに生まれました。「埴輪(はにわ)」+「本庄(ほんじょう)」から「はにぼん」と名付けられました。1400年前の本庄から、未来の私たちに笑顔を届けるためにタイムスリップしてきました。



### 本庄総合公園

広大な園内には、多彩な遊具を備えた子ども広場やピクニックにもおすすめの芝生広場があり、家族でのんびり楽しむことができます。さらに2つのアリーナ、トレーニング室、ランニングコースを有する体育館(シルクドーム)や市民球場(ケイアイスタジアム)、ドッグラン、散歩コースもあり、春から秋にはバーベキュー広場も開設されます。

## 熊谷の名物

### めめまのいなり寿司

二百数十年前の宝暦年間、妻沼地区が聖天さまの門前町や利根川の宿場町として栄えた遠い昔から妻沼名物として名高いいなり寿司。細長く大きな形で食べごたえがあり、油揚げを煮込むタレが独特で根強い人気です。

### 雪くま

あつい熊谷を代表するスイーツグルメ。熊谷のおいしい水を使った氷は、口に入れると淡雪を食べたときのようふわっと溶けてなくなりまます。各店舗のオリジナルシロップも好評です。

### めめま縁結びメニュー

縁結びの御利益で知られる妻沼聖天さま。地域の商店主達が、妻沼を訪れた方々が幸せなご縁で結ばれるよう縁起の良いメニューを用意してお待ちしています。

### ニャオざね

ニャオざねは、熊谷市を盛り上げるマスコットキャラクター。名前は、熊谷の武将「熊谷次郎直実」に由来しています。



### グライダー滑空場と葛和田の渡し船

日本学生航空連盟妻沼訓練所が擁する利根川河川敷滑空場は、グライダーの飛行回数が日本一といわれています。天気の良い日は、河川敷から飛び立ち大空を悠々と舞うグライダーを目にすることができます。葛和田の渡し船は、川の上の県道として葛和田地区と群馬県千代田町を結ぶ渡し船です。葛和田側から乗船したい時は黄色い旗を上げて千代田側に合図を送ります。千代田の船着き場から程近い光恩寺には、荻野吟子生家の長屋門が移築されています。

## 熊谷の立ち寄りどころ

## 深谷の立ち寄りどころ

# 埼玉の3偉人

[渋沢栄一(深谷市)・塙保己一(本中市)・荻野吟子(熊谷市)]

## ゆかりの地をつなぐ

# 観光MAP



**1 荻野吟子記念館**  
熊谷市依瀬581-1  
☎048-589-0004  
開館時間/9時～17時  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始  
入館料/無料  
備 考/駐車場約10台(大型バスは、河川敷内駐車場)



**4 妻沼展示館**  
熊谷市妻沼東1丁目1番地  
☎048-588-2044  
開館時間/9時～17時  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始  
入館料/無料  
備 考/妻沼中央公民館と同じ敷地内 東武キハ2000型気動車展示



**6 妻沼聖天山(「国宝」歓喜院聖天堂)**  
熊谷市妻沼1511  
☎048-588-1644  
彫刻観覧  
拝観受付時間/9時30分～16時  
入館料/拝観料700円  
備 考/駐車場約200台



**10 誠之堂・清風亭**  
深谷市社会110番地1(カーナビで検索の場合起会84-1)  
☎048-571-0341 大寄公民館  
開館時間/9時～17時  
休館日/年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/10人以上の団体での見学は要事前連絡  
駐車場有 大型バスは北部運動公園駐車場



**16 渋沢栄一記念館**  
深谷市下手計1204  
☎048-587-1100  
開館時間/9時～17時  
休館日/年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/駐車場有 大型バス可

### ○各施設間(主なもの)の移動時間の目安

荻野吟子記念館 ▶▶▶▶▶ 渋沢栄一記念館	約35分	約18km	県道45号・国道462号経由
渋沢栄一記念館 ▶▶▶▶▶ 塙保己一記念館	約30分	約16km	県道59号・県道45号経由
荻野吟子記念館 ▶▶▶▶▶ 妻沼聖天山	約15分	約7km	県道59号経由
荻野吟子記念館 ▶▶▶▶▶ 道の駅めめま	約15分	約8km	県道59号経由
妻沼聖天山 ▶▶▶▶▶ 道の駅めめま	約5分	約2km	国道407号経由
渋沢栄一記念館 ▶▶▶▶▶ 誠之堂・清風亭	約5分	約2km	県道14号経由
渋沢栄一記念館 ▶▶▶▶▶ 旧渋沢邸「中の家」	約3分	約1km	市道経由
渋沢栄一記念館 ▶▶▶▶▶ 尾高惇忠生家	約3分	約1km	市道経由
塙保己一記念館 ▶▶▶▶▶ 旧本庄警察署(歴史民俗資料館)	約20分	約9km	国道462号経由
塙保己一記念館 ▶▶▶▶▶ 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	約20分	約8km	国道462号経由
塙保己一記念館 ▶▶▶▶▶ 競進社模範蚕室	約3分	約1km	県道191号経由
旧本庄警察署(歴史民俗資料館) ▶▶▶▶▶ 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	約1分	約0.3km	市道経由
競進社模範蚕室 ▶▶▶▶▶ 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫	約18分	約8km	国道462号経由



**7 道の駅めめま**  
熊谷市弥藤吾720  
☎048-567-1212  
めめまアグリパーク開館時間/10時～18時  
(11月から2月は17時30分まで)  
休館日/毎月第1水曜日、12月30日～1月3日  
備 考/駐車場小型100台、大型30台

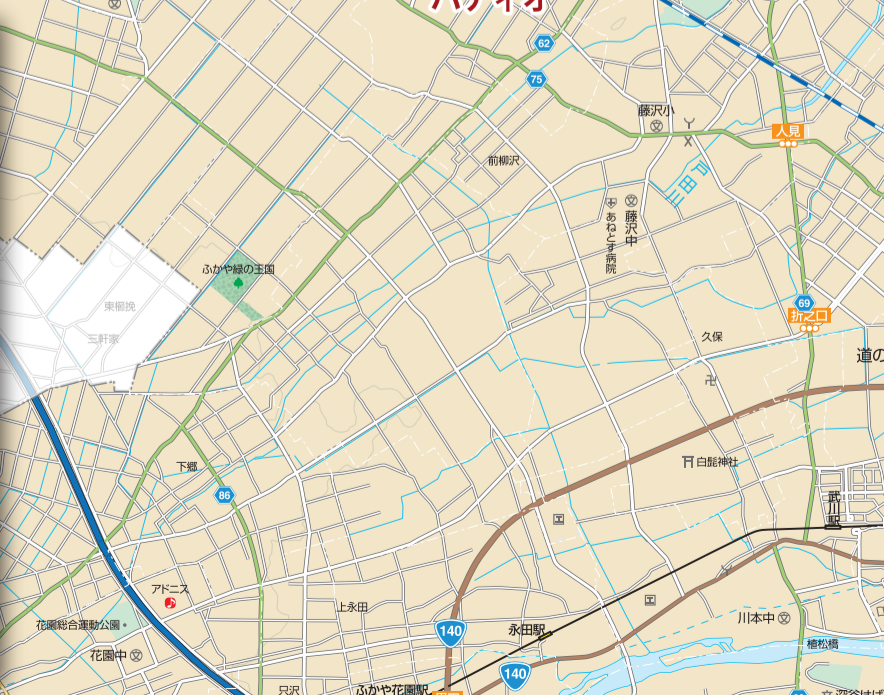


**11 尾高惇忠生家**  
深谷市下手計236  
☎048-587-1100 渋沢栄一記念館  
開館時間/9時～17時  
休館日/年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/駐車場有 大型バス可



**16 旧渋沢邸「中の家」**  
深谷市血洗島247-1  
☎048-587-1100 渋沢栄一記念館  
開館時間/9時～17時 入場は16時30分まで  
休館日/年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/駐車場有 大型バス可

- ### ◎みどころリスト
- 1 荻野吟子記念館
  - 2 秦公民館(不発弾200kg爆弾)
  - 3 葛和田の渡し
  - 4 妻沼展示館
  - 5 坂田医院旧診療所
  - 6 妻沼聖天山(「国宝」歓喜院聖天堂)
  - 7 道の駅めめま(吟子桜、バラ園)
  - 8 能護寺(あじさい寺)
  - 9 日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設
  - 10 誠之堂・清風亭
  - 11 尾高惇忠生家
  - 12 鹿島神社
  - 13 渋沢栄一記念館
  - 14 旧渋沢邸「中の家」
  - 15 華蔵寺・横瀬神社
  - 16 田島弥平旧宅
  - 17 諸井家住宅
  - 18 仲町郵便局
  - 19 旧本庄警察署(歴史民俗資料館)
  - 20 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫
  - 21 金鐘神社
  - 22 塙保己一旧宅
  - 23 競進社模範蚕室
  - 24 雉岡城跡
  - 25 塙保己一記念館



**19 旧本庄警察署(歴史民俗資料館)**  
本庄市中央1-2-3  
☎0495-22-3243  
開館時間/9時～16時30分  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始(12月28日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/団体での見学は要事前連絡  
駐車場有 大型バス用駐車場(2019年9月予定)



**20 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫**  
本庄市銀座1-5-16  
☎0495-71-6685  
開館時間/9時～19時  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始(12月29日～1月3日)  
入館料/見学無料  
(2階の多目的ホールを使用する場合はお問い合わせください。)  
備 考/駐車場有 大型バス可



**23 競進社模範蚕室**  
本庄市児玉町児玉2514-27  
☎0495-71-1121  
開館時間/9時～16時30分  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始(12月28日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/団体での見学は要事前連絡  
駐車場有 大型バス可



**25 塙保己一記念館**  
本庄市児玉町八幡山368アシアこだま内  
☎0495-72-6032  
開館時間/9時～16時30分  
休館日/月曜日(月曜が祝日の時は翌平日) 年末年始(12月28日～1月3日)  
入館料/無料  
備 考/団体での見学は要事前連絡  
駐車場有 大型バス可